115學年度第一學期 Eurasia 基金會(from Asia)國際講座
「亞洲共同體：東亞學的構築與變容」系列講次(8)
講題：台灣的特殊語言景觀
―以日文標示和諧音梗為主―

陳順益

（2026.11.05）

摘要

本週講師為本校日文系的陳順益老師。講述的主題為台灣的兩個特殊語言景觀：日文標示和諧音梗。陳老師首先對講題中出現的如：語言景觀、台灣語、台灣華語等專門用語進行定義。並說明研究台灣語言定義絕對是必要的。因為台灣語言的各種特徵對為何台灣存在如此之多的諧音梗，有著很大的影響。另外，本次介紹的範圍為私領域的招牌。

1.日文標示

台灣不論到哪裡到處都可見到以日文標示的景觀。根據陳老師 2019 年的調查台灣的公領域的語言景觀（如公家機關的各種建築、路牌、地圖等指示標識）基本上以中英文兩種語言標示。但是自從 2023 年疫情逐漸解封之後，為因應重新回歸市場的外國旅客以及台灣舉辦國際性體育活動（如世大運等）影響，台北的捷運車站，車廂，公車以及車內播報除了本來就有的國台英語以外，逐漸朝中英日韓四種語言的標示演變當中。英語為國際語，日韓語為鄰近國家的語言，這一點和日本，韓國相似，也非常符合語言景觀的理論。陳老師除了介紹台灣到處可見的日文招牌以外，並分析台灣日文招牌的錯誤以及為何誤用的原因，並舉出台灣日語學習者在學習日語的時候也會發生和招牌一樣的誤用情形。誤用的範圍從假名，漢字字形的誤用到詞彙的錯誤甚至語法的錯誤都有，而且從初學者也能輕易判別的錯誤到連高級日語學習者也不容易判別的錯誤都有。這也說明了語言景觀可以很淺顯易懂也可以很學術。

2.諧音梗

陳老師的研究中將語言景觀大致分為①固定的・常時的：以招牌等商業廣告為主。種類最多。②移動的・臨時的：如選舉罷免運動的口號標語等。另外，依據標記的發音來分類則有

①華語標記華語發音 例：愛搭膳【愛搭訕】、泰宵張【太囂張】、朝司暮饗【朝思暮想】等，數量最多。

②華語標記台語發音 例：菜奇鴨【菜市場】、藤柳杯【糖尿病】、替幫修【鐵板燒】（鉄板焼）等。這個部分包含不懂台語的台灣年輕人無法產生共鳴。

③華語標記日語發音 例：衣級棒【一番】、酥芭樂嘻【素晴らしい】、扛八疊【頑張って】等在台灣廣為人知的日語詞彙。

④華語標記英語發音 例:壁虎奴斗【beef noodle】咚窩蕊【don’t worry】、玩的夥【wonderful】等簡單的英語單字和句子など、簡単な英語。

⑤其他 例：168【一路發】（數字）、歐巴【오빠】（韓語）、蛇馬龍鶴【什麼

攏好】(華語+台語混用)、益身 GYM【益生菌】(華語+英語)等，今年受韓流的影響，韓文字有變多的傾向。此外，還可以根據內容語意的分類：

①華語熟語 例：作煎販蚵【作奸犯科】、漁肉蝦民【魚肉鄉民】、銀絲作對【吟詩作對】(吟詩作对)等，數量眾多。台灣人似乎非常喜歡用四字成語。

②台湾語熟語 例：武英來賊【有閒來坐】、狗宿喜【夠舒適】、雞嫂話談【止嗽化痰】、愛烤愛對囉【愛哭愛跟路】等，上述一樣，不懂台語的人無法共鳴。

③人名 例：蚵男【柯南】、小丸煮【小丸子】、洗特樂【希特勒】等以歷史人物或動漫主角為主

④機関名 例：利髮院【立法院】、煎茶院【監察院】、醫鞋苑【醫學院】等，數量不多。只找到髮【法】、茶【察】、鞋【學】３種“諧音”。

⑤地名 例：大盜陳【大稻埕】、魷布院【由布院】、猛呷【艋舺】等，此次調查只找到)「大稻埕」「艋舺」等古地名和「湯布院」「早稻田」等日本地名。

⑥食物 例：歐練米會【黑輪米血】、思慕魚渡【虱目魚肚】等。

⑦俗語/黑話（18 禁） 例：杏沖凍【性衝動】、潮炊【潮吹】等難以啟齒的字句藉由諧音詼諧地表達，足見台灣人的幽默。

⑧不說不知道的 例：八曜和茶【爸要喝茶】、麥味登【麥袂停】(台語)等。

3.台灣特色的“諧音梗”

台灣特色的“諧音梗”當然會受到台灣人的發音特徵、發音習慣、以及台灣華語語彙・文法的影響。台灣人的發音有以下的特徵：

①沒有唇齒音/f/、發雙唇音/h/ 例：搞什麼飛機【搞什麼灰雞】、平安祥虎【平安祥福】等。

②沒有捲舌音、發舌尖音 例：饌牛角尖【鑽牛角尖】、嘗飽圖【藏寶圖】。

③沒有/zhi,chi,shi,zi,ci,si/ㄓ/ㄔ /的發音、全部發/u/ 例：好初炸雞【好吃炸雞】、正塩法酥【證嚴法師】等。

④/n/和/ng/的發音不分 例：逆轉腎【逆轉勝】、床家寶【傳家寶】等。

⑤沒有/r/的發音、發/l/ 例：顱釋重負【如釋重負】、肉出微笑【露出微笑】。

⑥沒有撮口呼的/ü/(yu)、發/i/(yi) 例：豈有此呂【豈有此理】、鹽來如此【原來如此】等。

⑦沒有/er/化音、發/e/ 例：香奈鵝【香奈兒】、貳捌貳【餓不餓】等。

⑧沒有/uo/的發音、發/ou/或/ui/(台語) 例：喫吼勾【吃火鍋】、武灰鍋【有火鍋】、台灣狗以【台灣國語】等。

4.結論

陳老師最後分析為何台灣人這麼喜歡諧音梗。除了好記、印象深刻、幽默、創意等藉由招牌主人的訪談中知道以外，陳老師推測原因之一是以表意文字的漢字來標音的關係。台灣雖然有標音的注音符號，但是正式表記只有漢字一種而已。因此，在翻譯外文使用音譯時，諧音就是常用的手法之一。

陳老師最後還分享了他近期的研究如：炎上、甘酒、職人、部屋、手作、繪

本、單品等新日系外來語。

關鍵字：諧音梗、日文標示、招牌、語意雙關、語言景觀

陳順益　整理

2026.11.05

115 學年度第一學期 Eurasia 基金會(from Asia)國際講座
「亞洲共同體：東亞學的構築與變容」系列講次(8)

講題：台湾における特殊語言景観
―日本語表記と諧音梗を中心に―

陳順益

(2026.11.05)

要旨

今回は本学日本語学科の陳順益講師による「台湾における二つの特殊な言語景観―日本語表示と諧音梗を中心に―」である。

陳講師はまず「言語景観」「台湾語」「台湾華語」など、講題に出てくる専門用語の定義を行った。そして、台湾の言語を研究する際にはその定義が極めて重要であることを説明した。なぜなら、台湾の言語に見られるさまざまな特徴が、台湾でこれほど多くの“諧音梗”が存在する理由と大きく関わるからである。なお、今回の講座で紹介する事例は私的領域の看板に限定したと述べた。

1.日本語表記

台湾では、どこでも日本語表記の看板や標識を目にする。陳講師の 2019 年の調査によると、台湾の公的領域（官公庁の建物、道路標識、地図など）の言語景観は、基本的に中国語と英語の二言語で表記される。しかし、2023 年に入り、パンデミックが徐々に収束して以降、再び訪れるようになった外国人観光客への対応や、ユニバーシアードなど国際的なスポーツイベントの開催に伴い、台北の地下鉄駅、車両内、バスやその車内アナウンスにおいて、従来の中国語・台湾語・英語に加え、日本語と韓国語も使用されるようになり、現在では中・英・日・韓の四言語表記へと進化しつつある。英語は国際語であり、日本語と韓国語は近隣諸国の言語であるため、この点は日本や韓国とも共通しており、言語景観の理論にもよく合致している。陳講師は、台湾各地に見られる日本語の看板を紹介するだけでなく、それらに含まれる誤りや誤用の原因を分析した。また、台湾の日本語学習者が日本語を学ぶ際に、看板に見られるような誤用を同様にしてしまうことも指摘した。

誤用の内容は、仮名や漢字の字形の誤り、語彙の使い方の間違い、さらには文法上の誤りにまで及ぶ。それらは初級学習者でもすぐに気づくものから、上級者でも見分け難いものまで多岐にわたる。これにより、言語景観は一見わかりやすいもので

もあり、同時に学術的な研究対象にもなり得ることが示された。

2. 諧音梗

陳講師の研究では、言語景観は①固定的・常時的なもの（看板など商業広告が中心。種類が最も多い）と②移動的・臨時的なもの（選挙やリコール運動のキャッチフレーズやスローガン）に分類される。また、表記の発音によって分類すると、

①華語表記華語発音　例：愛搭膳【愛搭訕】（ナンパ好き）、泰宵張【太囂張】（傲慢すぎ）、朝司暮饗【朝思暮想】（朝に夕に思い慕う）などがある。数が最も多いという。

②華語表記台湾語発音　例：菜奇鴨【菜市場】（市場）、藤柳杯【糖尿病】（糖尿病）、替幫修【鐵板燒】（鉄板焼）など台湾ならではのもの。台湾の若者を含め、台湾語が分からない人にとってなかなか分からないという。

③華語表記日本語発音　例：衣級棒【一番】、酥芭樂嘻【素晴らしい】、扛八疊【頑張って】など、台湾では親しみのある日本語の単語やフレーズが使われている。

④華語表記英語発音　例：壁虎奴斗【beef noodle】、咚窩蕊【don't worry】、玩的夥【wonderful】など、簡単な英語の単語やフレーズが使われている。

⑤その他　例：168【一路發】（数字、最後まで順調）、歐巴【오빠】（韓国語、お兄さん）、蛇馬龍鶴【什麼攏好】（華語―台湾語混用、何でもいい）、益身 GYM【益生菌】（華語―英語混用、プロバイオティクス）などがあり、近年韓流のため、ハングル表示もよく見られるという。

内容の意味による分類

①華語熟語　例：作煎販蚵【作奸犯科】（悪いことをして法律に触れる）、漁肉蝦民【魚肉鄉民】（百姓を搾取する）、銀絲作對【吟詩作對】（吟詩作対）などがあり、数も多く、台湾人は四字熟語がかなり好きなようである。

②台湾語熟語　例：武英來賊【有閒來坐】（暇があれば遊びに来てください）、狗宿喜【夠舒適】（とても快適）、雞嫂話談【止嗽化痰】（咳止め痰きり）、愛烤愛對囉【愛哭愛跟路】（泣き虫で何処にでもついてきたがる）などがあり、上述した台湾語発音の看板と同じように、外国人はもちろん、台湾語が分からない若者にもなかなか共感できないという。

③人名　例：蚵男【柯南】（コナン）、小丸煮【小丸子】（ちびまる子）、洗特樂【希特勒】（ヒトラー）など、主に歴史上の著名人、人気タレント、人気バンド、漫画やアニメのキャラクターの名前がよく使われている。

④機関名　例：利髮院【立法院】（立法院）、煎茶院【監察院】（監察院）、醫鞋苑【醫學院】（医学部）など、今回の調査では、数はそれほど多くなく、髪【法】、茶【察】、鞋【學】といった３種類の“諧音”しか見つからなかった。

⑤地名　例：大盜陳【大稻埕】（大稲埕）、魷布院【由布院】（由布院）、猛呷

【艋舺】（萬華）など、今回の調査では、「大稻埕」「艋舺」など古い地名と「湯布院」「早稲田」など、日本の地名しか見つからなかった。

⑥食べ物　例：歐練米會【黑輪米血】（おでんとミーシュエガオ）、思慕魚渡【虱目魚肚】（サバヒーのハラミ）などがある。

⑦スラング（18 禁）　杏沖凍【性衝動】（性衝動）、潮炊【潮吹】（潮吹）など、普段口に出せない言葉をユーモアで表現できる点はなかなか大胆で、台湾人の創意工夫が見られる。

⑧言わないと分からないもの　例：八曜和茶【爸要喝茶】（父さんがお茶を飲みたがっている）、麥味登【麥袂停】（台湾語・絶えず売れている）など。

3.台湾特色の“諧音梗”

台湾特有の“諧音梗”は台湾人の発音特徴、発音習慣、台湾華語の語彙・文法などと深く関わる。台湾人の発音特徴（台湾語からの影響、台湾社会からの影響）は以下のようになる。

①唇歯音/f/はなく、両唇音/h/になる　例：搞什麼飛機【搞什麼灰雞】（何してるの）、平安祥虎【平安祥福】（平安祥福）などがある。

②そり舌音はなく、舌尖音になる　例：饌牛角尖【鑽牛角尖】（思い詰める）、嘗飽圖【藏寶圖】（宝の地図）などがある。

③/zhi,chi,shi,zi,ci,si/の/ɨ/はなく、/u/になる　例：好初炸雞【好吃炸雞】（美味しい唐揚げ）、正塩法酥【證嚴法師】（證嚴法師）などがある。

④/n/と/ng/の発音が区別しにくい　例：逆轉腎【逆轉勝】（逆転勝ち）、床家寶【傳家寶】（家宝）などがある。

⑤/r/の発音はなく、/l/になる　例：顱釋重負【如釋重負】（肩の荷が下りる）、肉出微笑【露出微笑】（微笑む）などがある。

⑥ウムラウトの/ü/（yu）の発音はなく、/i/(yi)になる　例：豈有此呂【豈有此理】（そんなバカな）、鹽來如此【原來如此】（なるほど）などがある。

⑦/er/化の発音はなく、/e/になる　例：香奈鵝【香奈兒】（シャネル）、貳捌貳【餓不餓】（腹が減ったか）などがある。

⑧/uo/発音はなく、/ou/または/ui/(台湾語)になる　例：喫吼勾【吃火鍋】、武灰鍋【有火鍋】、台灣狗以【台灣國語】などがある。

4.結論

台湾人がこれほど“諧音梗”を好む理由について、覚えやすい、印象付け、ユーモア、創意工夫など店のオーナーのインタビューによって分かったこと以外に、「表意文字による表音」も大きな原因の一つなのではないかと陳講師は推測する。台湾華語には、注音符号という表音のコードが存在するが、表記の場合基本的に表意の漢字しか使わないため、外来語などの受け入れも漢字で行われる。外来語の翻訳においては音訳と意訳があり、音訳の場合、“諧音”が

よく使われる。したがって、“諧音梗”は台湾人にとって身の回りにある、当たり前の存在と言って良いであろう。

最後に陳講師は「炎上、甘酒、職人、部屋、手作、絵本、単品」などという「新日系外來語」を最近の研究として紹介してくれた。

キーワード：諧音梗、日本語表記、看板、意味の双関、言語景観

陳順益　中国語整理
日本語翻訳 CHATGTP／塚本善也修改
2026.11.05